



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y's MEN'S CLUBS
TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANI EVER RIGHT



Kyoto Tops

Y'S MEN'S CLUB



Chartered
10th. July 1994

7月号

第29巻
第1号
通巻323号

田頭邦彦会長主題： < 話・和・輪 >
~Start with a bow and end in a bow~

国際主題 Into the next 100 Years with FELLOWSHIP & IMPACT

フェロウシップとインパクトで次の100年へ

アジア太平洋主題 Elegantly Change With New Era 新しい時代とともに、エレガントに変化を

西日本区主題 Know the origin and utilize it in the future! 原点を知り将来に生かす

Stand up Y's Men with our Motto! 立ち上がれワイズモットーと共に

京都部主題 United by YMCA ~YMCAで、ひとつになる~

内山垂衣Y's選



わたしたち強い者は、強くない者の弱さを担うべきであり、自分の満足を求めるべきではありません。

ローマの信徒への手紙 15章1節

躍動するトップスクラブ

TOPSのバナーにはこまが三個配されています。TOPSのTOPとは独楽(こま)と言う意味もあります。こまは軸を中心に回転し自由に動き回る。回転しなければ、倒れてしまうものです。トップスクラブは止まる事なく躍動し続けると言う意味でもあります。



例会だよ~全員集合~

第29期会長 田頭邦彦

京都トップスワイズメンズクラブ第29期 会長の田頭邦彦です。会歴11年目にして、今期会長を拝命となりました。入会当時は、メンバー数30名弱程でしたが、現在は60名を超えるマンモスクラブへと発展しました。そういった中、今期におきましても更なるメンバー 増員と何よりも退会者ゼロに全力を注ぎたいと考えております。また、コロナ禍に伴いこの2年数カ月間のクラブ活動が満足に活動できなかった分まで取り戻していきたいと思っております。逆に、コロナ禍でZOOM会議等が新しく取り入れられ今後についてもリアルとZOOM併用しながら旨くクラブ活動を進めて行ければと感じます。さて、直前期につきましては、新山 西日本区理事を当クラブから排出し、スポンサークラブとして岡山の地に於て第25回西日本区大会を成功裏に終える為に、メンバー一丸となり日夜取組んで参りました。この結束力を余すことなく引き続き今期へと継承していければと強く思います。

それには、会長である私があらゆる面でメンバー全員から信用され信頼され尊敬されるような人物でなければいけないと自負しております。至らぬ点多々あります、前もって言うときます)クラブメンバー 1人1人を大切に、30周年その後も限りなく発展邁進していけるような「トップスクラブ」に少しでも寄与できればと肝に命じる次第です。最後になりますが、メンバー皆様の協力なくしてクラブ運営はなされません。

共に成長し 友に感謝し共に楽しんでいきましょう!

1年間 どうか よろしくお願ひいたします。

7月強調月間

Kick-off
PR

新しい期のスタートにあたって、外部への広報と、内部への情報共有の有り方を、今一度考えてみましょう。

大槻 信二 広報・情報委員長(京都センチュリー)

例会出席		BFポイント	スマイル	ファンド	献血
6 月 報 告	メンバー数 (広義会員3名含む)	64名			
	特別メネット	1名	現金 0円	6月現金 8,500円	6月 400cc
	出席メンバー	51名	切手 0円		
	メネット・コメント	0名			
	ゲスト	2名			
	メーキャップ	6名			
	出席率	89%	累計 0円	累計 188,000円	収益累計 686,385円



2022年6月25日にウェスティン都ホテル・コスモスホールにて、今西宏樹会長の1年間の功績を称える引継ぎ例会が盛大に行われました。今西会長期の最後の例会で今西会長に泣いて笑って楽しんでもらえるよう、三役とドライバー委員会さんをご尽力され、そしてトップスクラブメンバー全員の愛がいっぱい詰まった引継ぎ例会になったと感じました。開会の挨拶から目を真っ赤にしていた今西会長の姿に「早っ、もう泣いてるやん！」って思ったのですが、1年間おもしろいやり切った姿なんだと感銘を受けました。

そして、西日本区大会での各表彰のお披露目 区役員さんへの感謝、三役・委員長さんの引継ぎ、クラブ会長表彰では今西期特別クラブメンバー賞に牧野篤文ビジョン事業委員長が受賞され、今西期最優秀クラブメンバー賞には植浦EMC事業委員長が受賞されました。お二人の今西期の功績はトップスクラブに素晴らしい推進力をもたらしたと思います。そして、今西会長の奥様へのインタビューでは「あまり感情を表に出さないシャイな一面や、奥様とのなれ初め、お子さん達との事、ジム通いで自称マッチョの自画自賛、お酒を控えて欲しい事」など今西宏樹会長の家庭での姿が丸裸になりました。

メンバーからの画像メッセージでは、今期委員長さん達からのありがとうメッセージや牧野ワイズ、船木ワイズの熱い思いのこもった

お疲れ様メッセージ、そして倉ワイズと私の愛もこもった恥ずかしい漫才コント(リアリティを高めるため角刈りにまでしたんやから!)こっそり今西会長を観察していたのですが、泣いて笑ってそしてまた泣いて…トップスクラブメンバーから今西会長への素敵な思いがしっかり伝わったんじゃないかと感じました。最後の点鐘でのハンカチをもちながらの会長挨拶でも感動を頂きました。私が会長を任命される時が来たならば、今西宏樹会長のようメンバー全員から慕われ愛されるような会長になればいいなあと思います。

今西会長、本当に1年間お疲れ様でした。

※最後にもう一言、例会画像を作成した三役さん方へ…僕の画像、無許可で使い過ぎですよ！



田頭会長優勝おめでとうございます。KYBゴルフコンペin亀岡ゴルフクラブ

振り返る令和4年6月15日にKYB関西ワイズビジネス交流会異業種交流金ゴルフコンペが亀岡ゴルフクラブにて開催されました。総勢40名で、一部プロの方も参加で、コロナ渦の中、感染防止対策の上での開催ではありましたが、開催が久しぶりとのこともあり大きく盛り上がりました。小雨があったせいか気温も丁度良く1日ゴルフしやすいお日柄でした。トップチームは亀岡ゴルフクラブのコースの難しさもあったせいか、もしくは直前の西日本区大会で全力を出し切ってしまったせいか、苦戦を強いられる場面が多く見られたようですが、私自身はスコア以外は同じパーティでの和気あいあいと親睦を深めながらプレーを楽しむことができました。もちろんゴルフ後の懇親会においてはこのゴルフコンペの魅力であるワイズビジネス交流会の醍醐味であるビジネス交流もしっかり行われ、ワイズメンズクラブ本来の奉仕の部分であるOB献金(私もOB4発分寄付させていただきました)も多数集まりました。なんといっても素晴らしいかったのが田頭次期会長の優勝！優勝商品Nintendo Switchゲット！羨ましい限りです。Switchを手にした田頭会長の今後に期待です。次回はしっかり素晴らしい商品をゲットできるよう、きちり仕上げで挑戦したいと思います。

第25回西日本大会が2022年6月11日(土)岡山国際ホテルにて、コロナ禍による参加人数500名制限にも拘らず収容人数マックス約500名のワイズメンが集い単日開催にて執り行われました。

過去の西日本区大会で単日開催は初の試み、準備段階よりトップクラブはプログラム作成に大変苦勞をされてきました。その上コロナ禍の中どこまでのプログラムが出来るのか日々移り変わるコロナ情勢に右往左往し開催日を迎えました。

オープニングLEDパネル90枚使った大画面によるセレモニー映像、バナーセレモニーは圧巻でした。今回の大会は過去に経験のない単日開催、西日本区に様々な影響を与える大会に、社会情勢の変化と共にワイズメンズクラブも変革を遂げる一助に成ったのではないのでしょうか。

私は裏方としてプロ司会者高月弘子さんのサポート役をさせて頂きました。大会に参加し大会を楽しむのではなく裏方として大会への参加者に少しでも心地よく過ごして頂くための「おもてなし」をさせて頂きました。そんな立ち位置から裏方の皆さんの様子をここで少し紹介します。

6月10日午後12時より午後7時30分まで、大会当時午前8時より午後12時ころまでトップスクラブ岡山クラブの皆さんとリハーサルを行いました。当然リハスタート時点ではグダグダ。何度も何度も繰り返しながら形が整い部門部署を担当するメンバーの意識が明確になって行く様子を目の当たりに、私とて司会者のサポート役とし全体の進行状況を把握するのに一苦勞、延べ11時間30分のリハーサルでしたが十分なものではなく、最後は皆さんの団結と気合で最高のおもてなしをしようと言う事で本番へ！！

不安交じりで大会は開催されましたが、リハで汗を流した事が本番ではそれぞれのパートでメンバーの皆さんは参加者の皆さんに精一杯のおもてなしを行えたのではないのでしょうか。大会に参加された皆様には様々な意見が有るかとは思いますが、今回の西日本区大会サポートは我々にとって大きな経験となりました。まだまだ未熟なトップスクラブでは有りますが、メンバーのバランスと言動のメリハリを大切に益々発展して行く事を期待ください。

Y'sly



2021-2022年度 西日本区表彰

理事最優秀賞

Yサ・ユース事業

Yサ・ユース献金100%達成賞

地域奉仕・環境事業

地域奉仕・環境事業特別賞

CS献金優秀賞

CS献金100%達成賞

FF献金優秀賞

FF献金100%達成賞

TOF献金優秀賞

TOF献金100%達成賞

RBM献金優秀賞

RBM献金100%達成賞

EMC事業

最優秀クラブ賞

青年会員獲得賞

YES献金目標達成クラブ賞

EMCパートナーズ賞

牧野篤文 植浦基暁

国際・交流事業

EF献金 新山兼司

BF献金100%達成賞

今期各委員長の意気込み



Yサ事業委員長
西川智之

今期YMCAサービス・ユース事業委員長を務めさせていただきます西川智之です。
何をどうしていいのかもわからないまま初めて委員長をさせていただきます。田頭会長や他のメンバーの方々から色々とお教わりながらYサ事業への理解を深めています。
新メンバーの方々にもYサ事業への関心興味を持って頂き事業への参加者を昨年度以上に増やしたいと考えております。



CS事業委員長
寺内陽子

みなさん、こんにちは。委員長になりました、寺内陽子です。
田頭会長を支えられるよう、1年間頑張っていきたいと思っております。よろしくお願ひします。
今までクラブが関わってきた、ぐんぐんハウス(障がい者福祉施設)さん、京都聖嬰会(児童養護施設)さんのことを知らないメンバーも多くいらっしゃると思ひます。
まずは知ってもらい、メンバー全員に関わってもらえるような地域奉仕事業を考えていきたいです。



EMC事業委員長
植浦基暁

EMC活動は、ただひたすらメンバーを増やす事ではありません。クラブの方針や目標を達成するために、メンバーを増やす取り組みをします。
メンバー1人ひとりの個性や魅力をクラブに落とし込み、更に魅力的に発展させる事です。
メンバーが増えればクラブ力は必ず上がります。
会費によるクラブ予算、そして様々な活動でのマンパワーなど、増える事にマイナスはないです。トップスはアジア1のメンバー数になりました。けれど、まだまだ発展途上です。
EMCでは、新たなメンバーを増員すると同時に、メンバーのやり甲斐と楽しみをつくり、既存メンバーと新メンバーの融合をさせなければなりません。28期の新メンバーはモチベーションの高い方が多く、自ら馴染んでいく活動が目立ちました。それが京都部部会や西日本区大会のように大きな原動力となりました。
今後これが当たり前ではなく、新しいメンバーがクラブで何ができるのか、また活躍できる場所はどこなのかを考え、居場所を作りながらクラブの目標達成に近づいていけるよう環境づくりもしていかないとはいけません。
自分が入ってきた時はどうだったかではなく、これからのクラブのためにより良い体制を整え、皆がゲストを安心して呼べる空気をつくりたいと、2年目EMC委員長として、次のステップに挑戦します。



交流事業委員長
山名一平

お疲れ様です。交流委員長に任命された山名です。
田頭会長からゴルフコンペのティーショット前に寺本y'sと呼ばれて次期交流委員長をやってほしいと頼まれましたが、僕にはそんな無理やわって思ひながらも頼まれたしやらな、しゃあないと覚悟を決めました。
直前の交流委員会はコロナの為に中々思うような交流が出来ませんでしたので、今期の交流はズバリ超濃厚接触というコンセプトの元に茨木クラブとのDBC締結。他クラブとの交流をバンバン行って。西日本区大会のようにやっぱりトップスクラブやわって思われる交流をして行きたいです。皆さんには迷惑かけると思ひますが宜しくお願いします。

スケジュール 7・8月

7月 3日(日) 旧神崎小学校ワーク
13日(水) キックオフ例会
27日(水) 役員会
29日(金) 地域奉仕・PR合同懇談会

8月 8日(月) 国際・交流懇談会
10日(水) 西日本区打ち上げ例会
16日(火) 大文字送り火鑑賞会
28日(日) リトセン秋季準備ワーク
31日(水) 役員会

6月26日に田頭期YMCAサービス・ユースの初事業であるリトセン夏季準備ワークが行われました。初委員長で初事業でしたが、田頭会長、石田副会長、河原Yサ副委員長、Yサ委員のメンバーの皆様をサポートして頂いたおかげで無事にワークを終えることができました。

まずは「リトセン」というものから知ることを始めました。地元が宇治ということもあり、場所やどのような施設なのかをなんとなくは知っていましたが、現地に行くことでより理解が増しました。

このような場所・施設は現代の子ども達にとっては必須だと個人的に思います。運動指導者として活動していると子ども達の身体・心の悩みを保護者の方々からお聞きします。「空間」「時間」「仲間」この3つの「間」が現代では減少し、子ども達に影響を与えています。

そしてスポーツはするけれど「外遊び」が足りない子どもも増えています。良い環境でたくさん自由に幅広い友達と遊ぶことで子どもの身体、脳、心、コミュニケーションなどが育っていきます。京都YMCAリトリートセンターはまさにそんな場所にふさわしい施設と感じました。

この夏に子ども達が安心して活動できたらと思いワークをさせて頂きましたが、私の格好があまりにも軽装であった為、この想いは参加者の方々には伝わっていないかもしれません。

参加者の方々にはリトセンワークにも慣れておられましたので、私としては本当に助かりました。今後の事業にも意欲的に取り組んでいきたいと思っております。



YMCA NEWS

【キャンプ参加費補助】「夏の思い出を等しく子どもたちに」キャンペーン
経済格差による教育・体験格差に取り組むため、この夏、京都YMCA主催のサマーキャンプの参加費を補助するキャンペーンを実施します。

できるだけ多くの子どもたちに YMCA のキャンプを体験して夏の思い出を作ってもらいたいと願っています。

このキャンペーンでは、市民の皆様から寄付金を集め、参加費の補助を行います。

市民の皆様にご協力をお願い申し上げます。

キャンペーンの詳細は下記 QR コードまたは、こちら→ <http://kyotoymca.or.jp/?p=7942> を読み込んでご覧ください。



お問い合わせ

キャンペーンの利用(申請)について wellness@kyotoymca.org

寄付(支援)について honbu@kyotoymca.org

